

# 自分の住んでいるまちは自分たちで守る ～鶴見消防団の訓練への参加を通して～

2023年7月2日(日)に横浜市国際学生会館の紹介により、横浜市の鶴見消防団第二分団の訓練に参加させていただきました。消防の仕事について学ぶことができた素晴らしい一日であり、思い出深い経験でした。実際、横浜港で行われたこの訓練は、放水訓練をベースにした非常に興味深いものでした。鶴見消防団の方々に、実際の



放水訓練

場面で行う動きをたくさん見せていただき、消火活動での基本的な動作をどのように実行するかを教えてくださいました。放水訓練は簡単そうに見えますが、予想よりかはるかに力があるものでした。また、鶴見消防団第二分団の完璧な動きも印象的で、私は彼らの仕事への熱意に感動しました。彼らは、2023年9月にある消防団競技会に向けて準備を進めているようで、彼らの幸運を祈っています。また、彼らの厳格さと完璧主義が競技会で発揮されると確信しています。私を彼らの団に招いていただき、彼らの知識を見せてくれたことに感謝しています。一時的でも長期でも、やりがいのある活動を探している人にはこの団をお勧めします。彼らは両手を広げてあなたを大歓迎してくれると思います。



鶴見消防団

ブーシェ ジブリル (横浜市立大学 カナダ)

## 学生会館からのお知らせ

### ◆潮田交流プラザ秋まつり

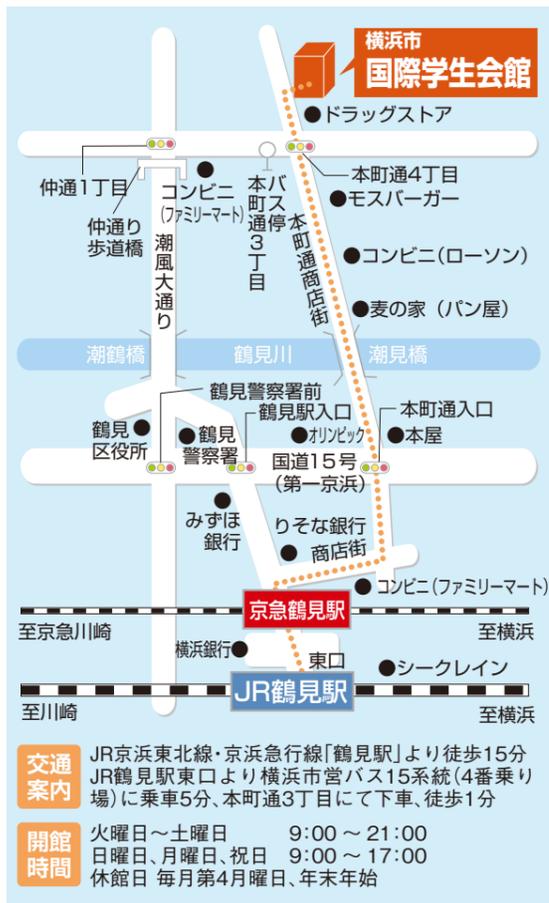
- 日 程: 9月24日(日) 10:45～15:00 ※10:30開会式
- 内 容: ①国際学生交流・カフェ (留学生たちの国の飲み物とお菓子) 学生会館3階ホール  
②国際屋台村(2～3ヶ国の料理) 学生会館前

### ◆留学生による文化講座 ～不思議! ミャンマーの伝統的な文化～

- 留学生が日本語で母国を紹介します。
- 日 程: 11月25日(土) 13:30～15:00
  - 会 場: 国際学生会館ホール(対面式)
  - 参加費: 500円(中高生300円。茶菓つき)
  - 定 員: 25名(先着)
  - 申込方法: 10月下旬にホームページで案内予定

### ◆オンライン語学サロン

- 留学生と外国語で1対1で会話を楽しめるサロンです。
- 期 間: 10月～2月
  - 時間帯: 10時～16時(土・日・月)と10時～20時(火～金)
  - 費 用: 45分で1,000円
- ※ご希望の方は、まず、メール(yish@yoke.or.jp)にてご希望の①言語と②時間帯を明記の上問い合わせをして下さい。留学生のスケジュール確認後、実施可否をお知らせします。



**交通案内** JR京浜東北線・京浜急行線「鶴見駅」より徒歩15分  
JR鶴見駅東口より横浜市営バス15系統(4番乗り場)に乗り5分、本町通3丁目にて下車、徒歩1分

**開館時間** 火曜日～土曜日 9:00～21:00  
日曜日、月曜日、祝日 9:00～17:00  
休館日 毎月第4月曜日、年末年始

■発行: 横浜市国際学生会館 (YISH)  
〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4-171-23  
Tel.045-507-0121 Fax.045-507-2441  
Email: yish@yoke.or.jp  
ホームページ: <https://yish-yoke.com>  
■印刷/デザイン: ツルミ印刷株式会社

# よこはま地球村

学生会館のマスコット  
ラブアースベア

2023 秋 autumn  
No.117

横浜市国際学生会館ニュース

横浜市国際学生会館は、留学生等への宿泊施設の提供と市民の国際理解を目的として横浜市が開設し、公益財団法人 横浜市国際交流協会が指定管理者として管理・運営しています。



横浜市国際学生会館2023年度主催事業

留学生による文化講座 7月1日(土)開催

## Korea ~韓国の若者は今~

「10」「7.1」「9750万」

みなさんこの数字、何を表しているかわかりますか? ヒントは、「現在の韓国(の若者)」。  
まず、「9750万」。現在のソウル中心街で家を買う場合、9750万円ぐらいするそうです。次に「7.1」。これは、最近の韓国の就職事情を表しています。現在の韓国の失業率が7.1%です。最後に「10」。韓国の若者たちは、平均的に午後10時まで学校で勉強します。その後塾に行く人もいて、講師のギソクさんも、家に帰るのは午前1時過ぎだったそうです。

今回は、韓国の昔ながらのお菓子「ダルゴナ」を作ったり、最近韓国で流行った映画をまねてダルゴナの型抜きに挑戦したり、体験も入った講座となりました。韓国のお菓子と梨ジュース、コーン茶などを片手に、韓国のMZ世代の話題とともに、熾烈な韓国の教育・就職事情を垣間見ることができました。

### 参加者の声



学生会館に住んでいる他の韓国の留学生たちも手伝ってくれました

- 韓国での就職は本当に難しそうだと感じました。歴史的に難しい問題を抱えている両国ですが、日本人はもっと知ろうとしなければならぬと感じています。(50代参加者)
- MZ世代の中でも少しずつ変化を感じます。講師は日本での就職が決まったようですが、皆さん苦勞しているようですね。日本の企業文化も過渡期にあるのでしょうか。韓国の留学生は全体として日本語運用能力が高いので、一段と深い文化交流を求めているようにも見受けられます。(60代参加者)

韓国の若者の姿を垣間見ることができました!



ダルゴナ作りのデモンストレーション

### 今回の講師

ジャン ギソクさん



講座の準備を進めながら色々悩みや心配もありましたが、みんなが手伝ってくれて助かりました。足りない点も多かったと思いますが、多くの方々に関心をもって応援してくださり、ありがとうございました! 受験のために日本語の勉強を始めたのですが、他の言語よりすぐ話せるようになったので、日本語をもっと勉強してみたいです。次回もこのような機会があればぜひ関わりたいと思います。

### (講師プロフィール)

仁川国立大学東北アジア国際通商学部の4年生に在籍中。8月まで横浜市立大学に交換留学。趣味は野球とベースギター。

## シリーズ 母国の風景 アジャラ村



私の出身地であるアジャラは、西アフリカのベナン共和国のウエメ県にある村で、豊かな自然に囲まれており、魅力的な風景や独特な文化的雰囲気を持っています。人口は、約10万人です。アジャラの気候は赤道型の湿気の多い熱帯気候で、気温は21.9℃～32.8℃の範囲です。大乾季、大雨季、小乾季、小雨季の4季に分かれています。

この村は、黒い川で有名で、17世紀から18世紀にアジャラ王の軍隊が戦いに出る際の重要なルートとして機能した地域遺産となっています。現在、地域住民はその川で漁業を行っています。村の伝統的な市場「チャコウ」では、新鮮な農産物の他、色とりどりの織物や手工芸品等地元文化を見ることができます。また、



黒い川で漁業を行っている様子

アジャラには木や粘土の太鼓作りの職人のコミュニティもあり、その職人たちは鉄を扱う技術も習得して、農業、狩猟、音楽などの様々な道具を作ってコミュニティに供給しています。そのため、地元民の間で尊敬される存在となっています。

(アフアンボエベ セナ ジュレ パスカル 東京都市大学大学院)



# 6月4日(日) 潮田神社例大祭

潮田神社例大祭の本町通りパレードに20名以上の留学生やその家族たちが参加しました。地域の方々と一緒に本町通四丁目自治会のお神輿をかつぎ、日本の伝統行事を体験しました。

## 全然疲れない!

朴 美子(神奈川大学大学院 中国)

初めて伝統的な法被を着てお神輿をかつぎました。観光客ではなく、祭りの参加者としてその場にいると、にぎやかな地域のお祭りの雰囲気や、日本文化そのものをより深く感じる事ができました。お神輿は思ったより重くて、何度も途中で諦めようと思ったけれど、法被を着た地域の人たちに「もうだめ?これでもいいの?」と鼓舞されて、逆に「まだ!全然疲れてない!」と根性が湧き出てきて、「へいさ!」とかけ声を出しながら最後までかつぐことができました!今回のお祭りに参加して、日常生活と違う伝統と現代の出会いや新たな風景を発見したと思います。鶴見は本当に元気の街です。鶴見最高!また参加したい!



お神輿のかつぎ方を教えてもらいました



本町通四丁目チーム

# 前期「出前授業」が始動しました!

## 小学校での音楽の授業!

バ・ジベル 横浜国立大学大学院 (セネガル)

7月3日に横浜市立西前小学校の授業でセネガルの代表的な楽器と演奏を紹介したところ質問攻めにあい、児童達の好奇心の強さに驚き、嬉しく感じました。今後、知らない国の楽器に出会っても、今回と同様に興味を持って接してくれると期待します。



出前授業の様子(バ・ジベルさんと西前小学校の金崎先生)

### 【子どもたちの感想】

- セネガルのコラは独特でいいなと思いました。
- バラフォンの楽器の音がきれいで好きでした。
- いつも聴いている音楽とはちがいで、とてもいい音楽だなと思いました。
- 日本とセネガルの楽器のちがいをを見つけるのは楽しかった。
- 授業の最後にみんなで踊ったダンスが印象的で、まだ覚えています。
- セネガルのことをもっと知りたいと思いました。

## 中学校での「SDGsへの取組」に関する情報共有

7月6日に横浜市立本牧中学校で5名の留学生が出身国の文化を紹介しました。また、各国のSDGsへの取組としてベナンと中国の「緑化」、インドネシアの「都市化問題の解決方法」、メキシコの「海岸清掃と海洋生物保護」とアメリカの「電気自動車の太陽光充電式駐車場」を紹介しました。



サンディエゴ市の紹介をする講師のマス・ケイラブ・マイケルさん

### 【子どもたちの感想】

- ベナンの文化、食べ物を分かりやすく教えてもらい、社会の授業でもっと調べたいと思いました。
- 中国の食生活が日本と全く違って、勉強になりました。
- インドネシアの文化や生活は違うが、義務教育期間や学校の時間が同じで身近に感じました。
- 日本とメキシコの文化に共通点があり、コミュニケーションを取れることが分かり、外国に興味がありました。
- 日本と同じぐらいの緯度なのに、アメリカでは四季がないことを知ってびっくりしました。

# RA&YRA 代表

横浜市国際学生会館には、30ヶ国以上から来た100人を超える留学生が住んでいます。その他に、6人の日本人学生もレジデントアシスタント(RA)の役割を担って住んでいます。学生会館では、留学生たちが一緒になって活動するための会として横浜市国際学生会館留学生会(YRA)を立ち上げており、そのYRA代表とRAは学生会館の事業に協力しています。また、入居者のために親睦事業を企画・実施すると共に、必要に応じて、入居者の相談役を務めるなど活躍しています。そのRAとYRA代表の思いを聞いてみました。

## Q1.なぜRA又はYRA代表になりたいと思ったのか?

異なるバックグラウンドを持つ留学生との交流や学生同士のサポートから異文化交流のよさに気付きました。また、コロナ禍での擬似留学体験を通して、自己成長のために私たちはRAやYRA代表を希望しました。入居者との交流やイベントの企画を行うことで自身の成長に繋がったり、様々な国の人々との友情を育むことができるとして活動しています。

## Q2. RA又はYRA代表になってどのように成長したいですか。

私たちはこの活動を通して、責任感や行動力、言語力を養うだけでなく、異なる価値観を受け入れ尊重できる人材に成長したいという意欲があります。さらに、学生会館全体の交流を活性化し、会館に住んでいる様々な国々の学生と共に成長できる関係を築いていきたいと思っています。

## Cookingイベントとしてカレーとたこ焼き作り (YRA活動紹介)

5月にCookingイベントとして皆でカレーとたこ焼き作りに挑戦しました。カレー作りでは、材料の買い物から、調理まで皆で協力し、具沢山のカレーを鍋いっぱいに作りました。たこ焼きパーティーでは、初めてたこ焼き作りに挑戦する留学生も多くいましたが、経験のあるRAのつくり方を参考にきれいな丸いたこ焼きができました。ねぎやチーズ、紅生姜などのトッピングで好みのたこ焼きを焼いて、みんなで楽しく美味しく食べました。カレーやたこ焼きを食べるだけでなく、日本の食文化と留学生たちの母国の食文化について話す文化交流の機会にもなり、このイベントを通じてより一層仲が深まりました。



たこ焼き作りに挑戦



RA&YRA代表

# 前期「個人語学サロン(オンライン)」を実施中!

今期は英語・スペイン語・フランス語・中国語・韓国語の5ヶ国語を実施しています。講師を担当した横浜市立大学の交換留学生と受講生に感想を聞いてみました。

ベレス・ロバン・ルネ (フランス語)  
受講生との会話で得た知識や経験が自分を豊かに成長させてくれました。



ラミレス・ヘレーラ・ニコル (スペイン語)  
日頃、気づかなかったメキシコの良さや強みに逆に気づかされました。



パク インヒェ(韓国語)  
ここでは殆ど日本語で生活しているので、日本人と韓国語を使う貴重な体験でした。



【受講者の声】  
●アニメが日本に関心を持つきっかけだったと知り、日本の文化に興味を持つフランス人が多いと感じました。  
●色彩豊かで独自の歴史と文化を発展させたメキシコの話は非常に新鮮で、勉強になりました。ぜひメキシコに行ってみたいです。

## なるほど!おもしろい! 世界のことわざ ~スペイン~

### 「木片は棒のように (De tal palo, tal astilla)」

このことわざはスペインでよく使われることわざの一つです。同じ家族の二人(たいてい親子)の似ていることを指摘するためによく使われています。子どもの性格は親を見れば分かると表現するときに使われ、ポジティブな意味(長所)とネガティブな意味(短所)の両方で使われます。意味は日本語のことわざ「この父親にしてこの息子あり」に似ています。

このことわざによれば、外見から行動、好みに至るまで、私たちのすべてが遺伝的に親から受け継がれているということです。

フェルナンデス・バラカ・アナ  
(横浜国立大学大学院)

